

永原学園地域子育て支援センター
さんこう・ぽぽらだよ!
 令和2年8月発行・第160号
 認定こども園西九州大学附属 三光保育園
 TEL:0952-31-6877

8月の生活目標

- ・遊んだ後は、みんなで片付ける
- ・自分のことは一人でやってみよう。

「レジ袋の有料化と衛生管理」

7月1日からレジ袋が有料になりました。これは、使い捨てになるごみの削減と日本人1人当たり世界第2位のプラスチックごみの排出量を少しでも減らして、環境への影響を抑制するために私達消費者行動を見直すことが狙いです。

かなり前から様々な団体がエコバック持参を奨励していることから、スーパーでのエコバック持参率は定着してきているところですが、ところが、最近有名な老舗菓子店で土産物を買って、紙の菓子袋に入れるのも有料となったところがあってびっくりしました。よそ様へ差し上げる品を裸で売なのか、持っていかなせるのか、そのお店の衛生管理が消費者に委ねられていることに不安になりました。レジ袋がどうして有料になったかの論議を学生達と授業でしたばかりだったので、また次の課題が見えてしまいました。コロナが終息し、こんな風にぽぽらに集って、よもやま話をたくさんできる時が早く戻ることを願わずにはられません。

(三光保育園園長)

7月の支援活動は、水遊びでした！気持ちよかったですね！
 8月も行います(^^♪

7月のフリーデー



7/3 赤ちゃんの日



7/9 1歳の日



7/16 2歳・3歳の日



「シニアサロンぽぽら」

子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回地域の方におこし頂き楽しいひと時を過ごしています。お茶とお菓子を頂きながら久しぶりにおしゃべりしませんか？

日時：8月27日(木) 9月17日(木)

♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお申し込み下さい。
 ※毎月第3火曜日の14時～16時までは、西九大短大部教員による食育相談を行っています。
 事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。

さんこう・ぽぽら開放の時間帯について

【開園日】〇月～金(祝祭日・お盆・年末年始を除く)

【時間】〇9:00～12:30

- ・園行事の為、ご利用できない場合があります。
- ・出前支援の場合は、担当職員が不在になります。

〇12:30～13:30

昼休みの為閉園

〇13:30～16:00

この時間帯のご利用の場合は、電話での申し込みをお願いいたします。

8月・9月の「子育て支援事業」のお知らせ

- ・8月20日(木) 10:30～11:30 …赤ちゃんの日(1歳未満)
- ・8月24日(月) 10:30～11:30 …1歳児の日
- ・8月25日(火) 10:30～11:30 …2・3歳児の日
- ・9月9日(水) 10:00～11:00 …赤ちゃんの日(1歳未満)
- ・9月10日(木) 10:00～11:00 …1歳児の日
- ・9月11日(金) 10:00～11:00 …2・3歳児の日

開催場所：三光幼稚園・保育園の運動場

※電話でお申し込みください。先着10人です。

※雨天時は、中止です。

※赤ちゃんの日は兄弟姉妹の参加はご遠慮下さい。

1歳と2・3歳の日は、参加できます。

※詳しくは、ホームページを必ずご覧ください。

8月・9月の「フリーデー」について

保育園の支援センターを下記の日程で開放します。

日時：8月17日(月)・18日(火) 10:30～11:30

9月15日(火)・16日(水) 10:00～11:00

☆市報に掲載していた日程と一部変更しています。9月より、時間も変更になります。ご確認ください。

★新型コロナウイルス感染症の状況により、計画の変更が予想されるため、出かける前に必ずホームページで確認してください。事前の予約は、いりません。

「食べものの好みは年齢と共に変わる？」

子ども学科・教授・松井克行

お子様の食べものの「好き嫌い」に悩む方も多いのではないのでしょうか。日本マクドナルドの創業者であった藤田田（ふじたでん）氏（1926年～2004年）は、「人間は12歳までに覚えた味が“おふくろの味”になる」という仮説から、子どもをターゲットにしてハンバーガーを売ることにしました。1971（昭和46）年にマクドナルド1号店が東京の銀座にオープン。またたく間に全国展開されていきました。もし藤田氏の仮説が正しければ、12歳までに子どもの食べものの好みは決定されてしまいます。そうになると、子どものうちに理想的な食習慣を確立せねばなりません。でも、その仮説は正しいのでしょうか。

さて、1971年当時、小学2年生であった私は、たちまちマクドナルドの魅力の虜になりました。当時のマクドナルドは、今とは異なり店舗も少なく、都会にお出かけした時の「ごちそう」でした。さらに当時の私にとって、もう少しお手軽なファーストフードはミスタードーナツでした（佐賀駅にもありますね！）。なぜか国内1号店が、私が住んでいた大阪府箕面市という片田舎に1971年にオープンしました。マクドナルド1号店が大会社の銀座というのと比べるとずいぶん庶民的です。スーパーマーケットのダイエーの横にあったので、よく買ってもらって食べました。当時は、インスタントラーメンの他、カップヌードル（これも1971年に発売開始）、レトルト・カレー（大塚食品「ボンカレー」が1968年に発売開始）、冷凍食品（1970年の「大阪万博」をきっかけに普及が広まる）が出そろう時代でした。

「ファーストフード全盛時代」の背景には、「食の欧米化の進展」がありました。思い起こせば、幼少期から、好きなものはカレーライス、コロッケ、ハンバーグと洋食（中でも肉）に偏っていました。特に、カレーライスは大好物で3日連続でも平気でした。他方、（おしを正しく持てなかったこともあり）骨がある魚は苦手で、特に「茶碗蒸し」は、地味な見た目と中身（例：えびやぎんなん）とだしの匂いで全く「無理」でした（ふたすら開けませんでした）。但し、物心が付くまでは平気で食べていたらしく、祖母によくいじられました。

このように幼少時代からファーストフードや洋食が大好きだった私も中高年にさしかかると、食べものの好みガラリと変わりました。「洋食から和食へ」、「ファーストフードからスローフードへ」、知らぬ間に「和食」が大好きで、「茶わん蒸し」の繊細な味付けを理解できるようになりました。ファーストフードのハンバーガーもずいぶん食べていません。カレーライスも、たまに食べる程度です。インスタントラーメンもカップヌードルも滅多に食べません。周囲の同世代の友人にも同様の傾向が見られます。他方、欧米の同世代の方は、食べものの好みは若い頃とさほど変わらないようです（調査をした訳ではありませんが）。

という訳で、冒頭の藤田氏の仮説は、私の場合は見事に外れました。従って、「うちの子どもは偏食で困る」、「肉ばかり食べて魚を食べない」等とお悩みの方も少なくないとは思いますが、何十年後かには、理想的な食生活に変容するかもしれません。やはり「和食」は私たちにとって特別に大切なもの、戻るべき「原点」なのかもしれません。